

ひかりのこ

10月園便り

聖ミカエル幼稚園

2012年9月25日発行

月主題：おもしろいよ、おもしろいね

10月になり、1年の後半がスタートしました。

年少さんは、お母さんの手を離れ、もうすっかり幼稚園に慣れたようです。落ち着いて先生のお話を聞き、お外で思いっきり楽しんで遊ぶ事が出来るようになってきました。また、年少さん同士のお友達を意識するようになり、一緒にお外をつないでニコニコしながら遊んでいる姿に成長を感じます。年中さんは少しずつお兄さんお姉さんの顔になってきています。年少さんのお世話もできるようになってきました。先日の園外保育でも落ち着いて担任の先生のお話を聞き、広い百合が原公園をきちんと並んで移動することができました。年長さんはあと半年で小学校1年生。本当に頼もしく素敵な子どもたちになってきました。今は縄跳びや跳び箱にチャレンジする子供が増えてきています。なんにでも興味を持って、いろんなことにチャレンジして行ってほしいものです。

さて、秋といえば『読書』。幼稚園でも夏休みに整備をしていた『絵本の部屋』が開館となりました。絵本を置くスペースが増え、きれいに絵本を飾り、子どもたちが興味を持って絵本を手にとれるようにしました。絵本の部屋の廊下側の掲示板にも工夫を凝らし、明るい雰囲気になりました。木曜日の午後には絵本の部屋を開放して、園長や、先生たちがつくようになっています。先日もたくさんの子供たちが顔をのぞかせて、みんなで『ミック』を楽しんだり、図鑑を見たり、先生たちに好きな絵本を読んでもらったりしていました。

また、玄関の低い本棚の上の段にはカエルやキリギリスの虫かごを置き、下の段には、『昆虫』『だんごむし』『カエル』などの図鑑を置いています。お外遊びで虫を捕まえると「このちようちよ、なんていう名前かな?」「カエルは何を食べるのかな?」と自然と図鑑を開きます。この『調べる』楽しさを小さいころから経験することも、とても大切なことだと思います。最近小学校や、中学校でも『朝読書』の取り組みが行われ、子どもたちに読書の習慣が定着しつつあります。そして、『朝読書』によって、「落ち着いて授業に入れるようになった。」「学力がついた」といった「朝読書効果」の報告も次々聞こえてきます。

聖ミカエル幼稚園では、ひらがなドリルをやらせたり、漢字を教えたり算数を教えたりはしていません。が、たくさんジャンルの本が子どもたちの身近にあり、日常の中で子どもたち

が興味を持って本に親しむことにより、たくさんの知識が取り入れられ、豊かな情操が育まれると考えています。今後も新しい図鑑や絵本が入る予定です。ぜひおうちでもお子さんと一緒に本を楽しんでください。お子さんと一緒に感動したり、わくわくしたり。おうちの方がたにも貸し出しをしていますので、どうぞご利用ください。

園長 渡部 良子

キリスト教保育

よく周りから「札幌の水は本当においしいです!」と言われるます。本州からの転勤で札幌に来られた方は勿論、旅行などで他のところの水を飲んでみた方なども、札幌の水は本当においしいと言われるます。私もそう思います。札幌の水がおいしい理由はいろいろあると思いますが、水道のパイプの配管もその一つであると思います。他の地域と違ってそれぞれの家に水道のタンクを置かないので、浄水場から家の蛇口まで直接つながっている水道のパイプ、さらに、厳しい寒さの中でも凍らないように深く配管するので、夏でもつめたい水が飲めるその清涼感は最高だと思います。きれいな水源も大切です。そして、浄水能力も大切です。しかし、きれいな原水をさらに素晴らしく浄水したとしても、それぞれの家庭の蛇口までのパイプに問題があるならば、決してきれいでおいしい水飲めません。聖書には、『わたしにつながっていなさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながってなければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながってなければ、実を結ぶことができない。』と書いてあります。イエス様はミカエル幼稚園の皆を通して世界の皆にイエス様の愛を届けたいと願っておられます。どうか、ミカエル幼稚園の皆は、イエス様にしっかりとつながって、まずはつながっているその本人がイエス様の豊かな愛に預かり、そして、その愛を世界の皆に伝えることができますように。

チャブレン 司祭 ジョシュア 李 香男